

## 2026 新年メッセージ

理事長 田中 祐

明けましておめでとうございます。

旧年中は当組合に格別なるご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。令和8年の年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

昨年は、1月の賀詞交歓会（ラベル協組との共催）を皮切りに、ラベルフェスタ（関東三協組の共催）、地域懇親会、各種勉強会、納涼会、ゴルフコンペ、忘年会など、リアルイベントが数多く開催されました。多くの組合員・会友・協賛会員が集い、共に学び、親交を深める機会となり、改めて「リアルの価値」を実感した一年でした。オンラインでの情報共有は便利ですが、やはり組合活動の醍醐味は顔を合わせて語り合うことにあると強く感じています。こうした交流は、単なる情報交換にとどまらず、互いの知恵や経験を共有し、業界全体の底力を高める原動力となります。

一方で、日本経済は急激な物価上昇とそれに伴う人件費の上昇により、人手不足という課題が顕在化しています。しかし、ここに新しい可能性があります。生成AIの活用によって事務部門の生産性を高めることができれば、時間的な余裕が生まれます。さらに、生産設備のスキルレス化が進んでいる今、その余裕時間を現場支援に充てることで、部門を越えた柔軟な働き方が可能になります。新たな人員を採用せずとも、既存メンバーをマルチキャスト化することで、業界全体の競争力を高めることができます。これは単なる効率化ではなく、働き方改革の一歩先を行く取り組みです。こうした変化を恐れず、積極的に取り入れていくことが、未来への扉を開く鍵となります。

景気の面では依然として課題が多く、各社において厳しい経営判断が求められます。しかし、組合活動においては、各社が強みを持ち寄り、仮想的な企業集合体としてシール・ラベル産業を下支えしていくことができます。リアルな交流とデジタルの力を融合させ、共に未来を切り拓いていきましょう。変化の時代だからこそ、私たちには挑戦する勇気と、仲間と共に進む力があります。

最後になりましたが、皆様方のご繁栄とご健勝を心より祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます